

川崎市看護協会

Kawasaki Nursing Association NEWS ニュース

Vol.109

会員数 3,290人
(令和5年7月1日現在)

CONTENTS

- ・令和5年度 新理事・監事の紹介……………2
- ・看護フェスタ in かわさき……………2
- ・プロジェクトCHANGE 未来の看護へつなくために…3
- ・看護の現場発で「あったらいいな」を教えてください 4
- ・かわさきの看護の力で地域貢献!……………5
- ・おせっかいナースの会……………5
- ・事務局からのお知らせ……………6



〒211-0067 川崎市中原区今井上町 1-34 和田ビル 3F
TEL.044-711-3995 <https://www.kawa-kango.jp/>
FAX.044-711-5103 E-mail:mail1@kawa-kango.jp



令和5年度通常総会

6月22日(木)



堀田 彰恵 会長

令和5年度川崎市看護協会通常総会は4年ぶりにご来賓のご臨席のもと開会式が行われ、会員は会場参加とWEB参加のハイブリッドで開催されました。

堀田会長は挨拶で、コロナ禍で奮闘した看護職を労うとともに、今後も地域包括ケア推進や災害対策など多方面で看護の機能発揮が求められていることから、身近な看護協会として関係団体との連携を益々強化し、地域に密着した取組を進めたいとの意気込みを示されました。また、会員数の減少や厳しい財政状況等、協会の課題にも触れ、今後の安定的運営に向けて尽力する決意を表明するとともに、会員の皆様の一層のご理解とご協力をお願いしました。

ご来賓挨拶では、県や市行政から、看護職の日頃の活躍への謝意と今後への期待が述べられ、特に、市健康福祉局の小泉担当部長からは、COVID-19第5波の際に当協会が在宅療養者の健康観察架電業務を行う看護職の人材確保に尽力したことについて、改めて感謝の意が示されました。

川崎市医師会の岡野会長からは、看護人材確保が一層難しい今日、紹介会社への手数料支払いが経営を圧迫しており、このことから医療崩壊につながりかねないとの危機感や人材確保に対する当協会への期待が述べられました。また、神奈川県看護協会の長野会長からは、市の協会があるのは神奈川県だけの事情だが、よりよい形の連携を模索し「看護に垣根はない」ことを示したい、と力強いご挨拶をいただきました。



ご来賓の皆様 左から
神奈川県保健医療人材担当課長代理 天下井副技幹、
川崎市健康福祉局保健医療政策部 小泉担当部長、
川崎市医師会 岡野会長、神奈川県看護協会 長野会長

【定足数報告を受け総会成立】

総会時点会員数 3,189名
出席者 57名 (会場 49名、ZOOM 8名)
委任状 2,744名



会場の様子 (ハイブリッド開催)

【議事】 詳細は当協会ホームページをご覧ください

報告事項

- 報告事項1 「令和4年度事業報告」
- 報告事項2 「令和5年度事業計画」
- 報告事項3 「令和5年度収支予算」

審議事項

- 第一号議案 「令和4年度収支決算報告及び監査報告」
- 第二号議案 「定款の一部改正 (案)」
- 第三号議案 「入会及び退会に関する規則の一部改正 (案)」
- 第四号議案 「役員報酬規程の一部改正(案)」
- 第五号議案 「令和5年度役員の選任」



審議事項については全て承認可決されました。

同日開催された理事会にて新体制が発足しました。

※ 次頁に新理事・監事紹介



役員永年勤続表彰 左から
島田珠美さん、原田美根子さん、中澤美奈子さん、
長年にわたり、ありがとうございました

● 令和5年度 新理事・監事の紹介 ●



再任
会長
堀田 彰恵



再任
副会長
千島 美奈子
宮川病院



新任
副会長
梶山 倫子
かわさき記念病院



再任
常務理事
八木 美智子



新任
推薦委員会担当理事
柳澤 裕美
オリーブ母子相談室



新任
教育委員会担当理事
荒木田 美香子
川崎市立看護大学



再任
広報委員会担当理事
堤 妙子
聖マリアンナ医科大学病院



再任
看護プロボノ推進
委員会担当理事
藤原 実香
川崎市立川崎病院



再任
会員委員会担当理事
古屋 雅世
鹿島田病院



新任
労働環境改善推進委員会
担当理事
篠山 薫
川崎市立井田病院



新任
地域連携推進委員会
担当理事
阿部 直美
ポラリス訪問看護
ステーション



再任
人材確保・定着推進委員会
担当理事
井上 ふみ子
川崎市立多摩病院



再任
災害・救護委員会
担当理事
昆野 亜友子
関東労災病院



新任
看護フェスタ
担当理事
濱田 誠子
新百合ヶ丘介護老人
保健施設つくしの里



監事
小林 隆
(非改選)



監事
倉岡 圭子
(非改選)

令和5年度「看護フェスタinかわさき」

5月14日(日)

～つながろう看護職! 広げよう看護の心!～

コロナ禍で3年間規模を縮小しキャンペーンとして行っていましたが、今年は4年ぶりにフェスタを開催しました。会場は初めてとなるJR南武線武蔵溝ノ口駅南北自由通路で開催し、人通りも多く約420人の来場者がありました。

開会セレモニーでは、福田川崎市長から日頃の看護活動に対する感謝のご挨拶をいただき、看護職にとってとても励みとなりました。当協会の役員や会員、共催の神奈川県看護協会川崎支部の皆さん、川崎市立看護大学・聖マリアンナ医科大学看護専門学校の先生など看護職が力を合わせて、各コーナーを運営し、看護の心をお届けしました。参加者からは、コロナ禍の看護職の活躍への感謝や、日頃の受診での看護ケアへの感謝などのお声があり、直接、市民の皆さんと触れ合う貴重な機会となり、明日へのエネルギーをいただくことができました。



福田市長からコロナ禍での看護職への感謝、応援のメッセージをいただきました

5月12日がナイチンゲールの誕生日であることにちなんで、厚労省が「看護の日」と制定しています。

写真コーナー/ 川崎市看護協会

ナイチンゲール像と
写真を撮る方もいました



写真コーナー/活躍する看護職

写真を見ながら「看護師になりたい」「家族がお世話になった」などの声。付箋に看護職へのメッセージをいただき、感謝です



災害時の看護支援

段ボールトイレの体験・トイレ処理セットも「試してみたい」と持ち帰る方がいたり、地震が頻発しており不安の声が多数聞かれました



妊婦体験・抱っこ体験

妊婦はおなかの重さだけではなく、様々な生活上の大変さがあることをよりリアルに感じたと感想がありました



AEDをつかってみよう!



親子連れが多く、親も子も体験しました
力をかける方向もとても上手でした

まちの保健室

相談をしていられる方からの「今日話せてよかった」の声に、私たちも「やってよかった」と思いました



看護の進路相談

高校生からの進路相談、大学生の編入学について、社会人入試について、保健師・助産師になるには、准看護師課程からの進学課程の選び方などの相談がありました



当協会事務局スタッフも一丸となって頑張りました!

プロジェクトCHANGE ~未来の看護へつなぐために~

「CHANGE」は、今後増加する在宅医療におけるケアのあり方を理工学の視点を交えて考え、誰もが身近な人を見守れる道具やシステムの開発と「ケアの力」の醸成を行う取組で、令和4年度文部科学省/JSTによる「共創の場形成支援プログラム」に採択されたナノ医療イノベーションセンター*のプロジェクトです。

川崎市看護協会は、プロジェクトの一員として参画し看護の現場と研究者をつなぐ重要な役割を担っています。看護職が安心して働く環境づくりと、療養者や家族がその人らしく暮らせる社会の実現のため「川崎発」の技術が誕生することを目指し、今後も貢献していきます。

***ナノ医療イノベーションセンター (ICONM) :**川崎区殿町地区にあるライフサイエンス分野の拠点形成の核となる先導的な施設。川崎市産業振興財団が運営し最先端の設備と実験機器を備え、産学官・医工連携によるオープンイノベーションを推進するユニークな研究施設



プロジェクトCHANGE キックオフシンポジウム

3月27日(月)

「プロジェクト CHANGE のキックオフシンポジウム」には、大学・企業・工学系研究者及び看護、介護、薬局関係者、一般市民を含む250名の参加がありました。

「第3部 看護の将来を共に創ろう」では、2月3日に行った新人看護師とCHANGEメンバーのワークショップに参加した「たま日吉台病院」の恒川さんが未来を担う世代のセッションに「川崎市立川崎総合科学高校」の2年生3名とともに参加しました。続くパネルディスカッションには、労働環境改善推進委員会の鈴木委員長が参加し、看護師の思いを届けました。



恒川さん(右端)と高校生3名



鈴木委員長(左端)とパネラーの3名



たま日吉台病院の恒川さん

新人看護師と研究者とのワークショップに参加して、とてもよかったです。工学の発展が、病院や看護の人員不足の解消や在宅療養、看取りのあり方などをよい方向に向けてくれるのではないかと期待感が持てました。このような交流を通じて、地域の一員として看護の将来を考えていきたいと思えます。



労働環境改善推進委員会の鈴木委員長

会場に入ると、同時通訳が用意され外国からの方も参加されていて、プロジェクトの規模の大きさを痛感し、とても緊張感が高まりました。高校生から少子高齢化が進んだ未来の暮らしについてプレゼンされ、発想の豊かさに感心しました。新人看護師からは現在置かれている状況・葛藤から、看護の将来を考えていける看護師になりたいと期待を込めたプレゼンでした。シンポジウムへの参加を通して、これからもプロジェクトCHANGEと協働し、看護師の置かれている労働環境改善に向けて自分にできることは何か考えていきたいとより強く思いました。

【参考】2月3日実施の「新人看護師とCHANGEメンバーのワークショップ」参加者の声

- ・研究者が、看護とはまた違う視点から問題を考えてくれ、勉強になり貴重な機会になった
- ・どんな意見でも肯定して聞いてもらえ、アイデアを引き出してもらえ新たな発見になった
- ・今回出た「あったらいいな」が少しでも実際の臨床場面で活躍してくれたら嬉しい
- ・色々な病棟、それぞれの部署ならではの悩みや「あったらいいな」を聞くことができて良かった



看護の現場発で「あったらいいな」を教えてください

協会ニュース105号(令和4年8月発行)で大募集した、**第1弾 看護の「あったらいいな」大調査**。26名の方から79件のアイデアが集まりました。その結果を106号(令和4年10月発行)で報告しました。

実施してみても委員の感想



意外と少ない! 業務の中で「何とかならないかな」と思うことは、もっとあるはずだね。
みんな、この調査に協力してどうなるの? って感じなのかな...

【いただいたアイデアは全てきちんと分析検討されています!】

① 看護師のニーズ調査



「こんなことができたらなあ」「改良して!」「夢みたいなことだけど…」日常的に感じている希望を言語化

② 工学研究者による検討



実現に向けたアイデア出し
既存技術がないか下調べ

第1弾の調査で集まった「あったらいいな」の9割近くは、関連する技術や特許があり、中には製品化されているものもあったそうです。それなのになぜ現場にないのでしょうか?

値段が高いとか、使い勝手がよくない等、看護現場の声がしっかりと研究者に届いていなかったのではないかと?

看民工学

③ 看護師による評価・アイデア



研究者だけではわからない事をヒアリング・確認

プロジェクトCHANGEでは研究者が看護師の声を聴く場があります

産業化

地域の活性化
経済成長

製品化

現場に届く
負担が減る

これから



④ 研究開発・試作品製作



工学研究者が看護師とともに未来のケア製品を創出する「プロジェクト CHANGE」は本気です! あなたの「あったらいいな」が、川崎発の新しい技術や製品になるかもしれません。調査にご協力をお願いします!



第2弾

看護の「あったらいいな」を大調査!! By 労働環境改善推進委員会

SFの世界でしか語られなかったことを現実のものにする!! それが、このプロジェクトです。ご回答はこちらから「何とかして〜」「助けて〜」という現場の叫び声を研究者に届け、患者さんにとっても安楽で、少しでも働きやすい職場を作っていきます。

10年後、20年後、30年後にはきっと実現する! 潜在的に困っていることはもっとありそう。

あなたの「あったらいいな」大募集 ※回答締切 8月31日まで



ご回答者の中から抽選で、5名様に1,000円分のクオカードをプレゼント



看護プロボノ推進委員会から新事業のお知らせ

かわさきの看護の力で地域貢献!

～看護自主活動費助成事業が始まります～

今後の活動テーマについて検討していた業務委員会は、令和5年度から看護プロボノ推進委員会と名称を変えて、看護の力を発揮した市民啓発などの地域貢献を促進する取組を進めることになりました。

看護職が職場と違う場面で、自主的に地域貢献活動を行うグループに対し、活動費を助成する事業を開始します。専門的知識や業務の中で感じる思いなどを、市民に伝える活動を促進しながら、看護職も市民から学び、ともに成長していくことを期待しています。活動しているグループもこれから始めようという仲間も、この事業を活用して活発に活動を展開してください。



活動の例

- ・看護の視点で 災害への備えを啓発する
- ・糖尿病看護の専門性を活かして、予防について啓発する

助成事業の内容・募集・応募等については、当協会ホームページをご覧ください。

看護自主活動事例 「おせっかいナースの会」

ACP* を普及する取組

縁起でもない話で、充実した人生を!

終末期・緩和ケアに関わる看護師4人が集まって、元気な市民に今のうちからACPの大切さを知ってもらいたい、そんな思いを実現するために、自分たちで市民向け講座を企画し、3月25日(土)に実施しました。参加者大満足の有意義な時間になりました。



人生最後に何を大切にしたいかを「もしバナ」ゲームで語り合う



この時間を楽しむ気持ちで過ごせた後、みんなで記念撮影



4月27日(木)の神奈川新聞に掲載されました



「届けたい」を形にしてみませんか?

おせっかいナースの会代表 藤井 真樹 (川崎市立多摩病院 看護部)

私は川崎市北部にある急性期病院で働いています。看護師のキャリアは20年以上で、家族も看護ができるように家族支援専門看護師の資格を取得し、倫理的なジレンマに対応できるように倫理認定士の資格も取得しました。でも、スキルアップをしても、解決できないモヤモヤがありました。病院の中だけでは届かない看護師の思いをどのように地域に届けるか、ということです。

このモヤモヤを堀田会長に相談する機会があり、形にすればいいだけだよと、背中を押していただき

ました。同じ思いを抱いている緩和ケアに関わる仲間を募集し、数か月でおせっかいナースの会が誕生しました。

この会は、「縁起でもない話をもっと身近に」をテーマに活動をしています。中原区で、もしバナゲーム交流会を開催しました。参加者から有意義だったという言葉をいただき、病院の枠を超えてよかったと実感しています。活動を継続するために活動費の支援を協会に要望したところ、助成事業を創設していただきましたので、皆様で看護の心を届けましょう。

* ACP:アドバンス・ケア・プランニング。人生の最終段階における医療・ケアについて、本人が家族等や医療・ケアチームと繰り返し話し合う取組。「人生会議」という愛称もあり。(厚生労働省)

事務局からのお知らせ

【後期】受講者募集!

●新規研修「訪問看護ステーションに従事する看護職のための病院見学実習」●

訪問看護師が、病院における医療や入退院連携の実際を見学等により体験することで、療養・家族支援について、スキルの向上を図るとともに、病院と地域の在宅医療に関わる看護業務の相互理解を促進し、切れ目のない看護の充実を目指す研修です。今年度は市立川崎病院(患者総合サポートセンター・小児科)と市立井田病院(地域医療部)にご協力いただきました。大好評です。前期の研修のひとコマをご紹介します。

医療処置見学

6月20日川崎市立川崎病院(小児科)の病院見学実習にさいわい訪問看護ステーションの久保さんが参加されたときの様子



病棟がチームになって処置や、小児の不安への声掛けなどに対応している様子が勉強になりました。実際に見ることで、訪問看護の中でも小児やご家族との関わりについてさらに考えていきたいという思いになりました。大変充実した実習でした。病院の皆様、本当にありがとうございました。

病院職員にとっても貴重な機会です。



左から久保さん、研修の調整をしてくださった様原副看護部長、久保さんの指導担当Ns末長さん

実習

後期の実習は9月～10月です。申込期間は7月31日まで

*詳しい日程や申込方法については、協会ホームページをご覧ください。

- ・地域連携室編 ……川崎市立川崎病院(患者総合サポートセンター)、川崎市立井田病院(地域医療部)
- ・小児科編 ……川崎市立川崎病院(小児科病棟・外来)

参加してください

会員委員会からのお知らせ

応募してください

●交流会(VR/AR体験見学含む)の開催●

キングスカイフロントにある最新医療機器の手法トレーニング施設と先端治療研究開発施設を視察します。VR/AR体験など非日常な交流会にぜひご参加を!



第1回: 10月18日(水) } 定員各20名
第2回: 11月8日(水)

13:00~14:30 メドトロニック・イノベーションセンター見学
14:45~17:00 ナノ医療イノベーションセンター見学

*申込開始日など詳細は決定次第ホームページでお知らせ

●川崎フロンターレホームゲーム●

～観戦ペアチケットプレゼント募集～

第5弾(9月～11月)の申込を8月1日～8月31日まで受付! 締め切りは8月31日。

*試合日程は決定次第協会ホームページでもお知らせ

- 27節 9/15(金)or16(土) vs FC東京
- 29節 9/29(金)or30(土) vs アルビレックス新潟
- 30節 10/20(金)or21(土) vs アビスパ福岡
- 32節 11/11(土)or12(日) vs 京都サンガF.C.
- 33節 11/24(金)or25(土) vs 鹿島アントラーズ



ご応募はこちらから



広告

人間工学に基づいた革新的な枕 **プレゼントにも大人気**

コンフォートピュディー

Comfortpude®



お試しできます

価格20,000円税別

- ◆首のための枕
- ◆ロングセラー商品
- ◆お好みで2つの高さを使い分けられます



東洋羽毛首都圏販売株式会社 南東京営業所

TUK 東洋羽毛

0120-559-070 お問い合わせ、ご注文は、こちらの二次元コード又はお電話で



協会ニュースへのご意見募集 (アンケートのお願い)

多くの皆様に読んでいただけるニュースにするために、ご意見・ご感想をお寄せください。

アンケートにお答えいただいた会員の中から抽選で3名の方に1,000円分のクオカードを差し上げます。



こちらから



編集後記

数年ぶりに制限のない夏休みが戻って来ます。コロナは5類感染症へ移行した一方、ニュースでは第9波の始まりといった報道もあります。暑い夏が始まりますが、皆様にとって良い夏の到来をお祈りします。

広報委員一同